

みことばの力とイエスの愛

§ はじめに

- ・ことばは、諸刃の刃（剣）とか ペンは剣よりも強し
- ・ことばの力
- ・イエスのことばは、人のことばとは比較にならない、絶対的力あるものということを確認

§ 目的 “イエスの愛とみことばによって励まされ、喜びに満たされた生活へ” を再確認する

§ 内容

- ・聖書箇所：ルカ 4：31-41
- ・3つのポイント ①悪霊の追い出し 4：31-37
②ペテロの姑の癒し 4：38-39
③日暮れの癒し 4：40-41

§ 解説

①悪霊の追い出し

1.民は権威ある教えに驚いた（32節）

- ・当時の民の状況
- ・イエスの教え（神の愛／天の御国＝神の愛が支配する所）は、希望を与えるもので、新鮮さと驚き

2.悪霊が人より先に反応（悪霊につかれた人がいた 33節）

- ・悪霊はイエスを神の聖者と呼んだ（34節）
- ・悪霊にとってイエスは恐るべき方＝滅ぼしに来た方（34節）

3.イエスの悪霊追い出し

- ・「黙れ、その人から出て行け」（35節）
- ・ことばだけで、直ちに 権威と力による命令（36節）⇒イエスがメシアであることの証拠
- ・天地創造もことばによって 創世記1章、ヨハネ1：1-3

4（小休止）悪霊追い出しと、桃太郎の鬼退治との関係

②ペテロの姑の癒し

1.人々がイエスにお願いしたとある（38節）

2.姑の病

3.イエスの癒し

4.姑のもてなし（39節）

③日暮れの癒し

1.病にある人々が多くイエスのもとへ（40、41節）

- ・“日が暮れると” ⇒安息日が終わる時（土曜日の夕刻）を待っていた

2.イエスの癒し 癒しの方法に注目

- ・一人一人に手を置いて・触れて：ことばではなく愛の動作によって（40節）

3.悪霊の追い出し

§ 適用

①イエスのことばには力がある⇒私たちはイエス様のことばを、聖書からいただける

- ・例話：瞬きの詩人：水野源三 “もしも私が苦しまなかったら 神様の愛を知らなかった もしもおおくの兄弟姉妹が苦しまなかったら神様の愛は伝えられなかった もしも主なるイエス様が苦しまなかったら 神様の愛はあらわれなかった”

②みことばによる恵みに応答できる 姑はすぐ奉仕へ向かったように

- ・（例話）恵みに応答の例

③イエスの方法に習う ことばだけでなく愛の行動・実践

- ・イエス様の愛に応えた例
- ・イエスの愛を受け取った者として私たちも他の人に愛を示してゆきたいもの